



San Josemaría Escrivá

聖ホセマリア・エスクリバー
オプス・デイ創立者

祈 願

神よ、御身は聖母の取次ぎを通して、主の司祭・聖ホセマリアに数々の御恵みを与え、専門職とキリスト者としての日々の務めを果たしつつ聖性を求める道、オプス・デイ創立の忠実な道具となさいました。どうか私もまた、日常生活のあらゆる瞬間と状況を主を愛する機会とし、信仰と愛の光をもって地上を照らし、教会と教皇、そしてすべての人々に喜びと真心を込めて仕えることができますように。聖ホセマリアの取次ぎによって、私の願い（ここでお願いをする）をお聴き入れください。 アーメン。

主の祈り・聖母マリアへの祈り・栄唱

皆さんが希望の実現をめざし、仕事に従事し、愛情をささげるところこそ、皆さんが日々キリストと出会う場です。この世のもっとも物質的なものの真っ只中こそ、神と人々に仕えつつ、自らを聖化すべきところなのです。天と地は地平線でひとつになるように見えます。しかし、実はそうではありません。天と地がほんとうにひとつになるのは、日常生活を聖化しようと努力する皆さんの心の中なのです。(聖ホセマリア・エスクリバー・デ・バラゲルの説教「愛すべき天地」、1967年10月8日)

聖ホセマリア・エスクリバーは、1902年1月9日、スペインのバルバストロで生まれ、1925年3月28日、サラゴサで司祭に叙階され、1928年10月2日、神の靈感を受けてオプス・デイを創立。1975年6月26日、ローマで帰天。執務室を見守る聖母の御絵を深い愛の眼差しで見つめた直後のことだった。当時、オプス・デイはすでに5大陸に広がっており、聖ホセマリア・エスクリバーが常に教え実行したように、教皇ならびに司教と心をひとつにして教会に仕える80カ国6万人以上のメンバーを数えていた。ヨハネ・パウロ2世教皇は、2002年10月6日、オプス・デイ創立者をローマで列聖された。聖人の典礼上の記念日は6月26日。

聖ホセマリア・エスクリバーの遺体は、viale Bruno Buozzi 75, Roma にある平和の聖マリア聖堂(属人区長教会)に安置されている。

聖ホセマリア・エスクリバーについてさらに詳しく知りたい方は、www.escrivaworks.org を、ご覧ください。

聖ホセマリア・エスクリバーの取次ぎによって恵みを得た方は、次の住所にご連絡ください。
「ハウス104」 〒659-0095 芦屋市東芦屋町12-12